

2025 年度全体集会と若手研究者発表会 (プログラム)

【日時】

①全体集会：12月13日（土）14:00～17:40／懇親会 18:00～

②若手研究者発表会：12月14日（日）9:30～13:00

【会場】国立民族学博物館 2F「第5セミナー室」

みんぱくへのアクセス：<https://www.minpaku.ac.jp/information/access/expopark>

※最寄りの大阪モノレール「万博記念公園」駅およびJR茨木からのバス停「日本庭園」から徒歩15程度はかかりますので、ご注意ください。

館内案内：<https://www.minpaku.ac.jp/information/guide/facility>

【開催形式】ハイブリッド（対面&オンライン）※オンラインのURLは準備ができ次第ご案内いたします。

【受付】13:30～14:00

※懇親会に参加される方は、懇親会の費用を受付でお支払いください。

《東ユーラシア研究プロジェクト全体集会（一日目）》

12月13日（土）14:00～17:40

- ・プロジェクト副代表・みんぱく拠点長挨拶
島村一平（みんぱく）

<第一セッション>

みんぱく拠点の活動紹介「東ユーラシアにおけるサブカルチャーと宗教」

14:10～15:40

司会：赤尾光春（みんぱく）

- ・活動紹介①：「辺境ヒップホップ研究会」の活動と成果について（10分）
島村一平（みんぱく）
- ・事例報告①：「ウクライナ戦争期におけるロシアの政治家と音楽——なぜ外務省報道官とラッパーがコラボするのか」（20分）
中野幸男（同志社大学）
- ・活動紹介②：「東ユーラシア・イスラーム研究会」の活動予定について（10分）
奈良雅史（みんぱく）
- ・事例報告②：「戦時下を生きるロシアのムスリム——タタール、宗教、愛国」（20分）
櫻間瑛（大阪大学）
- ・質疑応答（20分）

<休憩> 15:40～16:00

<第二セッション：「憎悪と怨嗟を乗り越える」>

16:00～17:40

ロシアによるウクライナ侵攻は、旧来の欧米：旧ソ連とは姿を変えた西ヨーロッパ vs 東ユーラシアという構造を生み出した。東ユーラシアは中国とロシア及び隣接するモンゴル・朝鮮半島などを含む地域概念である。この二大地域大国とその周囲で構成される「東ユーラシア」では、ウクライナ戦争はもとより、民族問題、宗教をめぐる対立が渦巻いている。こうした状況下において、東ユーラシアでは、戦争や対立によって生み出された憎悪や怨嗟の念をいかに乗り越えることが求められているといえよう。本セッションでは、各拠点から事例を集めて検討することで、いかにして憎悪や怨嗟を乗り越えることができるのか、議論していくものとする。

司会：富田敬大（神戸大学）

- ・趣旨説明（10分）
島村一平（みんぱく）
- ・報告①「インド陸軍のクラス部隊に見るインドのダイバーシティ・レジーム」（20分）
上杉妙子（明治学院大学）
- ・報告②「イスラモフォビアが投げかけるもの——マジョリティの妬みとマイノリティの誇り」（20分）
澤井充生（東京都立大）
- ・報告③「迫害と追放 アフガニスタン人が難民になるまで」（20分）
小川玲子（千葉大学）
- ・コメント（10分）
佐藤剛裕（独立研究者）
- ・報告者との討論（10分）
- ・全体の質疑応答（10分）

<懇親会>

18:00～@みんぱく職員食堂

※ 職員食堂へは、1F インフォメーションカウンターの裏側にある職員用通路からお入りください。レストランでは別の懇親会が予定されておりますので、レストラン入り口からは入らないようにお願いいたします。

【参加費】

専任教員：6000円

専任教員以外：3000円

《東ユーラシア研究プロジェクト若手研究者発表会（二日目）》

12月14日（日）9:30～13:00

＜セッション①：人的交流＞

9:30～10:30

司会：富田敬大（神戸大学）

・”International Student Mobility in Japan: Trends and Experiences of Nepali Students in Japanese Language Schools”（20分）

Sanjaya Karki（千葉大学）

・「中国籍高度人材の来日移民経路と移民産業の実態分析」（20分）

Yuchen Zhou（千葉大学人文公共学府・博士後期課程）

・コメント（10分）

中山大将（北海道大学）※オンライン

・質疑応答（10分）

＜休憩＞10分

＜セッション②：交易と経済＞

10:40～11:40

司会：志宝ありむとふて（東北大学）

・「第二次世界大戦後の日ソ国境変動と樺太・サハリンにおける石炭輸移出の対日展開」

アントネンコ・ヴィクトリア（北海道大学）

・「辺境の商人と経済回廊：モンゴルートゥヴァ間の越境交易に関する人類学的調査報告」（20分）

寺尾萌（東北大学）

・コメント（10分）

宮脇千絵（南山大学）

・質疑応答（10分）

＜休憩＞10分

<セッション③：伝統と信仰>

11:50～12:50

司会：赤尾光春

- ・「ダライ・ラマ六世をめぐる争議——活仏信仰から美少年表象へ」(20分)
ウニルサイハン (総合研究大学院大学)

- ・「ベトナム南部における「mam (mâm・円形のお盆)」使用の変化——ブンタウ市にある家族の観察から」(20分)
Nguyen Tran Dieu Huyen (神戸大学)

- ・コメント (10分)
小河久志 (亜細亜大学)

- ・質疑応答 (10分)

- ・プロジェクト代表挨拶
高倉浩樹 (東北大)

※二日目終了後は、みんぱくの職員食堂で昼食をおとりいただくこともできます。職員食堂へは、1F インフォメーションカウンターの裏側にある職員用通路からお入りください。